

DX推進者のための“価値起点DX”入門

このコースは、昨年度「デジタル(DX)時代の事例から学ぶビジネス価値提案」 というコース名で開催しました。一部内容が重複しますのでご了承ください。

デジタル時代、変革が求められる時代に、顧客（ユーザ部門）とともに、生成AIも活用しながら新しいビジネスモデルを構想することをすべての社会人にリテラシーとして求められる時代となりました。



「改善」の域から「変革」へと、ビジネスの本質に迫る発想と、経営とITとの橋渡しをするデザイン・スキルを習得することができます。

コース詳細	
研修講座コード	ST010
受講料	¥66,000
開催予定	2日間(12時間) 2026-09-01(火)～2026-09-02(水)
開講時間	9:30-16:30 (お昼休み 基本12:00から13:00まで)
前提知識	
対象者	デジタル時代にイノベーションを期待されるリーダー・これから関わるメンバ デジタル化に取り組む経営層ほか、すべてのビジネスパーソン DXを推進する部門においてリーダー、マネージャの役割を担っている、または将来プロジェクトを担う方 デジタル推進部門の方 DX時代の提案を担う方
到達目標	・DX(デジタルトランスフォーメーション)の時代に必要とされる「顧客に寄り添うビジネス価値提案」ができるようになる。 ・イノベーションを起こすプロジェクト企画時に、ビジネスモデルと必要な要素を含んだプランが作成できるようになる。
講師	(有)ボランチ 21 大橋 知子 PMP®
備考	◎ <u>PMIタレント・トライアングル</u> ：働き方1、パワースキル4、ビジネス感覚 7 <u>PMI資格認定の更新について</u> 更新手続きについては、 <u>PMI CCRハンドブック（日本語版）</u> をご参照ください。 ※PMI日本支部のサイトに接続します。

<1日目>

1. デジタルトランスフォーメーション(DX)時代の価値を考える
 - ・DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル
 - ・顧客視点からビジネス上の価値を考える
 - ・本質的な違いを理解する<クイズ>
 - ・AIと「協働」するとは
 - ・事例からビジネスモデルを考える（デジタル事例の紹介）
 2. ステークホルダと価値の分析
 - ・ステークホルダの分析
 - ・ステークホルダの価値の分析
- [ステークホルダの価値分析]
- ◆実践ワークショップ：
- ・カスタマジャーニーマップ作成（ワークショップ）
 - ・バリュープロポジションによる価値の分析

研修内容

<2日目>

3. 超上流工程の考え方（案件・プロジェクト企画）
 - ・経営とITとの橋渡し～ポートフォリオ・プログラム・プロジェクト
 - ・デザイン思考的発想～未知へのチャレンジプロジェクト
 - ・IT組織としての方向性
 - ・AIと考えるデータからの価値創出
 4. ビジネスモデルの見える化
 - ・ビジネスモデルの分析
 - ・複数テーマの分析（優先度）
- ◆実践ワークショップ：
- [価値の分析]ビジネスモデル・キャンバス
バリュープロポジション・キャンバス作成

※進捗状況により変更となる場合があります。

お問い合わせ先

(株)北海道ソフトウェア技術開発機構 事業部研修課

営業時間: 平日 9:00～17:00

お問合せ: <https://www.deos.co.jp/contact>

電話：（011）816-9700